

リーディングDXスクール事業【実践事例】

春日市立白水小学校（福岡県）【指定校】

【取組内容】 第5学年社会科における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

【5年生 社会科「自然災害とともに生きる」】

「調べる災害の種類」、「調べる計画」、「学習方法」などを児童が選択し、学習問題を追究していく場面での主な手立てと成果

□…手立て、○…成果

1. 「学習方法」の選択

□学習問題の解決に向けて、

【資料1】の学習方法を選択し、自己解決（個別最適な学び）と学び合い（協働的な学び）を一体的に進めながら自分の考えを深めていく。

○自己解決と集団解決の境目がなくすことで、最後まで考え続けたり、共に解決方法を考えたりするなど学習活動を自己調整し、児童が主体的に個別最適な学びと協働的な学びを進めることができた。

【調べる災害の種類】

・津波
・地震
・風水害
・土砂災害
・雪害
・火山災害

【情報収集の方法】

・教科書 ・友達との考え
・地図帳 ・自分の経験
・資料集 ・図書の本
・きらきら宝箱 ・インターネット
・市役所の人へのインタビュー
・動画（NHK for School）

【学び方】

・1人で
・グループで
・先生と

【調べたことをまとめる方法】

・学習ノート ・Google スライド
・学習プリント ・Google ドキュメント

【資料1】学習活動の選択肢

2. 「単元計画表」の提示

□「見通す」段階で、学習問題に対する予想と調べる計画を立て、単元計画表を提示することで、個別で調べを進めていけるよう主体的な学びを促す。

○「見通す」段階で、主体的に自己選択・自己決定をすることができた。

○単元のゴールを示すことで、単元目標に向かって、一貫性をもった主体的な学びができた。

単元計画表「自然災害とともに生きる」（全6時間）

【1時間目】
日本の自然災害について調べよう。（種類、発生回数、時間）

【学習問題】
大規模な災害からくらしを守るために、どのような対策が施されているのだろうか。

【2時間目】
学習問題について予想し、学習計画を立てよう。

【3時間目～6時間目（4時間）】
大規模な災害からくらしを守るために、どのような対策が施されているのか調べよう。

A～Gの中から2つ以上選択

【まとめ（5時）】
災害の種類、くらしを守るために、どのような対策が施されているのか調べよう。
【まとめ（6時）】
災害の種類、くらしを守るために、どのような対策が施されているのか調べよう。

A. 津波 2時～3時
B. 地震 3時～4時
C. 風水害 4時～5時
D. 土砂災害 5時～6時
E. 雪害 6時～7時
F. 火山災害 7時～8時
G. その他

【学習問題】
自然災害とその対策について、調べたことを整理しよう。

【単元のゴール】
○自然災害とくらしの安全と関係の理解を深めることができる。
○調べた結果をまとめることや、調べた結果の整理について整理することができる。
○自然災害が発生しやすい国に暮らす一人としての考えをもつことができる。

【8時間目】
自然災害について調べたことを、地域の方や家族に伝えよう。

【資料2】単元計画表

3. 「ルーブリック」の活用

□児童が自ら学習方法を選択し、自ら学びを進めていくために、【資料3】のルーブリックを活用して、自らの学びをどこまで高めるかを考え、振り返りで到達できたかどうかを考える際に生かす。

○児童がルーブリックをもとに自己評価を行い、表計算シート

を用いて、到達度を時間ごとに記録し、自ら振り返りを記録していくことで指導と評価の一体化が可能となった。

【ルーブリック】

A: 自然災害と地形や気候との関係、及び、自然災害とその対策について、誰が、何のためにやっているのかを関連付けてまとめることができる。
B: 自然災害と、地形や気候についてまとめ、様々な対策や事業についてまとめることができる。
C: 自然災害や様々な対策や事業について調べ、記述することができる。

【資料3】ルーブリック

4. 「きらきら宝箱」の活用

□「自然災害とともに生きる」の小単元のきらきら宝箱【資料4】を作成し、児童の主体的な学習問題解決に活用できるようにする。

○既習学習を振り返ったり、学びの蓄積を行ったりする等、スタディログとして活用することで、個別最適な学びと協働的な学びが一体化した学習活動が可能となった。

○自分の選択した災害について、主体的に調べて学ぶことができ、さらに、個別最適な学びを進めることができた。



【資料4】きらきら宝箱